

背景

- ①人口減少と高齢化のさらなる進展により交通量が変化
- ②AI MaaS 自動運転による移動技術の進展
- ③広域交通の大きな変革期

滋賀県の持続的発展に向け、
大胆かつ中長期的展望にたった施策展開が必要。

1. 湖西線の将来展望

- 2023年春 北陸新幹線敦賀開業を契機とした利用促進
- 北陸新幹線敦賀以西の整備に伴う諸課題の解決

3. 草津線輸送改善

- 利用者増を目指した駅を中心としたまちづくりの検討
- 利便性向上に向けた運行体系の検討

5. 鉄道から目的地までの移動手段の確保

- バス路線の維持、交通空白地の移動手段の確保
- 県・市町・公共交通事業者の役割分担の明確化
- 新たな移動手段の技術の導入(自動運転、MaaS、新たなデマンド交通の実証実験)

2. 北陸・中京鉄道アクセスの向上

- 北陸新幹線敦賀開業、リニア名古屋開業を射程に入れた
〔敦賀 - 米原間〕のリレー快速の実現
- 東海道新幹線米原発着本数の増
- 「米原駅」の徹底活用

4. 近江鉄道線の活性化・再生

- 現在、「近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会(法定協議会)」において「地域公共交通計画」の策定に向けて協議
- 今後、利便性向上策の実施可能性についても検討
乗継改善、駅周辺の駐車場・駐輪場の整備、キャッシュレス化の導入等

- 駅のバリアフリー化、駅ホームドアの設置
- ICカード等キャッシュレス化の拡大
- 次世代交通システム(LRTやBRT)の検討
- サイクルトレインの実施

